

5. 県・市町村・ボランティア等と一体となった取組

(1) 民有林と連携した松くい虫被害対策

1. 本州日本海側の被害先端地域である青森県西津軽郡深浦町において、民有林と連携した「特別予防監視区域」を設定し、侵入防止のためにマツを伐採した防除帯を設けています。春と秋の年2回、共同で県防災ヘリコプターからの上空探査を実施し、被害木の早期発見及び駆除の体制を整えています。
2. 各県で設置している森林病虫害被害対策推進協議会等に参画し、情報共有及び連携した被害対策に取り組んでいます。

(2) 地域ボランティアと連携した松林の保全活動

各地域に所在する海岸林は、住居への飛砂防止及び農耕地を塩害等から守るため、先人たちが造成してきた松林です。その中には名勝地や憩いの場として市民の暮らしに欠かせない存在となっている松林もあります。

特に米代西部森林管理署や庄内森林管理署管内の海岸砂防林はそれぞれ「風の松原」「万里の松原」の愛称で親しまれており、国・県・市が一体となった薬剤散布等の防除に加え、市民参加型の活動が積極的に行われています。

○関連リンク

[米代西部森林管理署 HP](#)（「風の松原情報」「風の松原パンフレット」）

[庄内森林管理署 HP](#)（「庄内海岸防災林の造成」）